

第2回 洛西ニュータウンアクションプログラム検討会 会議録

| | | |
|--------|--|---|
| 開催日時 | 平成28年7月13日（水）午前10時～12時 | |
| 開催場所 | ホテル京都エミナース3階平安の間 | |
| 出席者 | 藤本会長，高田委員，片岡委員，平尾委員，藤本委員，平井委員，上野委員，香水委員，村下委員，齋藤委員，尾田委員，坂本委員（代理：樽本氏），鹿野委員，山下委員，中川委員，小山委員，新治委員，奥野委員，荒木委員，ペレイラ委員，西澤委員，竹村委員，菊池委員，善積委員，簗委員，赤井委員，江草委員，吉岡委員，近藤委員 | |
| 欠席者 | 安枝会長職務代理者，井上委員，永谷委員，竹原委員，今西委員 | |
| 事務局職員 | 京都市 都市計画局都市企画部長 同部都市総務課ニュータウン企画調整担当課長 同課企画調整係長 西京区洛西担当区長 同区地域力推進室総務・防災課長 株式会社地域計画建築研究所 | 鈴木 知史 菱田 栄造 平岡 雅基 平井 義也 平井 淳史 嶋崎 雅嘉 石井 努 戸田 幸典 |
| 公開・非公開 | 公開 | |
| 傍聴者 | 8名 | |
| 報道関係 | 1名 | |
| 議題(案件) | <input type="radio"/> 開会 <input type="radio"/> 議題 <ol style="list-style-type: none"> 1 第1回検討会の内容確認 2 ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告 3 洛西ニュータウンアクションプログラムWG合同ワークショップ（仮称）の開催について 4 洛西ニュータウンアクションプログラム（骨子イメージ）について 5 今後のスケジュール <input type="radio"/> 閉会 | |

| | |
|--------|--|
| 資 料 | <p>資料1-1 第1回洛西ニュータウンアクションプログラム検討会 会議録</p> <p>資料1-2 第1回検討会要求資料（質問に対する回答）</p> <p>資料2 各ワーキンググループ（WG）の開催・検討状況報告資料</p> <p>資料3 洛西ニュータウンアクションプログラムWG合同ワークショップ（仮称）の開催について</p> <p>資料4 洛西ニュータウンアクションプログラム（骨子イメージ）について</p> <p>資料5 今後のスケジュール（予定）</p> <p>参考資料1 洛西ニュータウンアクションプログラム検討会 委員名簿</p> <p>参考資料2 洛西ニュータウンまちづくり通信第1号</p> |
|--------|--|

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|---|
| 発 言 者 | 発 言 の 内 容 |
| 藤本会長 | <p>■ 開会</p> <p>○本日は、足元の悪い中、御多忙のところをお集まりいただき、感謝申し上げます。</p> <p>○ただ今から第2回洛西ニュータウンアクションプログラム検討会を開会する。</p> |
| 藤本会長 | <p>■ 新委員紹介</p> <p>○検討会委員の洛西ニュータウン創生推進連絡会会長が山田隆義氏から香水義三氏に交代していることを報告する。</p> |
| 香水委員 | <p>◆ 香水義三氏あいさつ</p> <p>○前回のアクションプログラム検討会にも代理で出席させていただいたので、今日は2回目ということになるが、今年の実選で選任され、今後の検討会に出席させていただくことになった。よろしくお願ひしたい。</p> |
| 事務局 | <p>◆ 資料確認</p> <p>○（資料確認）</p> |
| 事務局 | <p>◆ 議題説明</p> <p>○（各議題及び資料の説明）</p> <p>○第2回検討会開催にあたり、齋藤委員から藤本会長宛てに、今後のアクションプログラムの検討についての意見書が出されている。参考資料として配布している「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」の抜粋版を御確認いただきたい。</p> <p>○平成18年度にまちづくりビジョンを策定し、当面の取組として「4つの戦略」を掲げていたが、これらの戦略について具体的にどのように取り組まれてきたのか、その成果はどうであったのかについて整理した上で今後のアクションプログラムの検討を進めてもらいたい」との意見であった。</p> <p>○事務局として、これまで取り組めた内容、あるいは不十分であった内容等を踏まえながら、喫緊に重点的に取り組むべき内容をアクションプログラムに盛り込んでいきたいと考えていることを報告したい。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>■ 議事</p> <p>1 第1回検討会の内容確認</p> |
| 藤本会長 | ○それでは議事に入るが、「1 第1回検討会の内容確認」について、事務局から資料を説明していただく。 |
| 事務局 | ○（資料1-1, 1-2について説明） |
| | <p>◆ 議事録の公開について</p> |
| 藤本会長 | ○議事録はどこかに公開されるのか。 |
| 事務局 | ○京都市のホームページで公開する。 |
| | <p>2 ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告</p> |
| 藤本会長 | ○それでは、「2 ワーキンググループ（WG）の開催・検討の状況報告」について、事務局から説明をしていただく。 |
| | <p>◆ 高齢者の居住支援WG</p> |
| 事務局 | ○（資料2をもとに、高齢者の居住支援WGについて説明） |
| 藤本会長 | ○御意見、御質問が特にないようであれば、次に進みたい。 （一同、意見等なし） |
| | <p>◆ 子育て支援WG</p> |
| 事務局 | ○（資料2をもとに、子育て支援WGについて説明） |
| 藤本会長 | ○すでに13の団体があり、活動が進んでいることは素晴らしい。 |
| 事務局 | ○その活動をいかに届けるかも大きなテーマになっている。 |
| 藤本会長 | ○御意見、御質問が特にないようであれば、次に進みたい。 （一同、意見等なし） |
| | <p>◆ ツーリズム・プレイパークWG及びポータルサイト・魅力向上・エリアマネジメントWGの合同WG</p> |

| | |
|----------------------|---|
| 事務局 | ○（資料2をもとに、ツーリズム・プレイパークWG及びポータルサイト・魅力向上・エリアマネジメントWGの合同WGについて説明） |
| 井上委員 （欠席書面 意見） | ○市外等からの観光による活性化について、他の自治体よりも地方創生という ことで取り組まれているが、どこも大変である。自然のものについて、どの ように打ち出していけるかが鍵であり、これを誰が責任を持って担っていく のかということも大切である。 ○近郊に居住されている方に洛西ニュータウンを訪れてもらうという観点は、 より実現可能性が高い。 |
| 藤本会長 | ○WG名が長いので略称をつくられてはどうか。 ○御意見，御質問が特にないようであれば，次に進みたい。 （一同，意見等なし） |
| | ◆ 住まいWG |
| 事務局 | ○（資料2をもとに，住まいWGについて説明） |
| 奥野委員 | ○統計的には分からないが，ニュータウンに住んでいる親の近くに新しく家を 建て，同居ではなく近居される方が多いと聞いている。人口移動のデータを見 ても，多くの子育て世代がニュータウンに引っ越しており，もともと住ん でおられた方がどの程度戻ってきておられるのかを調べられると面白いの ではないか。 ○ある都市では，親の近くに住まれる方に対して登記費用相当分を補助するな どでUターン促進を図っているという事例もある。ターゲットを絞って，出 身の方に戻っていただく施策も考えられるのではないか。 ○最近の若い方は経済的理由で共働きが多く，お子さんを親に見ていただけ るというメリットもある。 |
| 藤本会長 | ○結婚して出ていかれる方が多いが，ニュータウンへのUターンを図りたい。 ○御意見を調査等に生かしていただきたい。 |
| | ◆ タウンセンター・サブセンター施設検討WG，ソーシャル・ワーキングWG |
| 事務局 | ○（資料2をもとに，タウンセンター・サブセンター施設検討WG，ソーシャ ル・ワーキングWGについて説明） |

| | |
|----------------------|--|
| 安枝委員 (欠席書面 意見) | <p>○ニュータウン内での戸建てと集合住宅の住み替えが促進する仕掛けや、集合住宅への子育て支援、高齢者支援機能の導入に対する議論が、各WGで活発に行われていることが分かる。前半はWG個別での議論をし、後半に複数のWGが連携しながら議論をする体制にうまく移行できればと思う。</p> <p>○WGが連携して議論を行う際には、創生推進委員会の活動で発見された人材・資源を活用し、連携することを積極的に検討し、各WGにおいて、アクションプログラムが策定された後でも、住民、事業者、行政が連携して、事業を提案できるプラットフォームとして継続していく方策を検討してはどうか。要望を伝えるためだけの場になるのではなく、それぞれの立場や状況を尊重しながら、必要な事業を提案・実施できる場になればと思う。</p> |
| 齋藤委員 | <p>◆ アクションプログラム検討の周知について</p> <p>○アクションプログラムの検討を住民に周知できていない。前回のビジョンづくりのときは、住民に対して丁寧なアンケートも行われ、「緑とゆとりを守り、各世代が支え合い心豊かな共生ができるまち」ということを目指し、ニュータウンの将来像というかたちで取り上げたが、今回のように委員の中だけで進んでいくことは問題がある。検討会の報告についても回覧が遅れており、何が始まるのかが分からない。先に住民に丁寧な説明をする必要がある。</p> |
| 藤本会長 | <p>○合同WGで住民の方々にお伝えすることを考えているが、他に具体的な案はあるか。</p> |
| 齋藤委員 | <p>○始まっているということを知らせ、住み続けていく夢や希望をつくりながら、それに対して意見を求めていくことが必要だ。5～10年後に高齢化が進んだとき、安全・安心で暮らしていけるかということを中心にアクションプログラムを検討すべきであり、そこを抜きにして動いたのでは安心して住めない。</p> |
| 藤本会長 | <p>○他にもアイデアがあればお伝えいただきたい。</p> <p>○回覧に関して、事務局から御意見はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>○まちづくり通信の発行に時間がかかったことについてお詫び申し上げる。今後の検討会や意見交換会等は、速やかに多くの方々の目に触れるかたちで広報していきたい。</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>村下委員</p> | <p>◆ 転出入について</p> <p>○資料1-2の折れ線グラフについて質問だが、年齢別の転出入、右京区との転出入の極端な動きは、西京区固有の傾向なのか。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>○中心区は高めの世代の転出入がうかがえるが、西京区は若い世代の転出入があると思われる。ただし、27年度の国勢調査の速報値によると、西京区全体では人口が微増しているが、洛西ニュータウンを含む4学区では5年間で8%の人口が減少しており、本所管内では若い世代が転入しているが、洛西管内は若い世代が転出していることがうかがえるかもしれないが、さらなる分析が必要である。この資料はあくまで西京区全体のものである。</p> |
| <p>菊池委員</p> | <p>○住まいWGの住み替えについて、公的賃貸住宅との連携が必要だ。URに30代の入居が増えているが、同時に60代の入居も増えている。もっと住み替えを進めていくためには中古住宅の流通がポイントになる。資料には全国的な住宅の課題が挙げられているが、洛西という地域の現状を深掘りすることで、より具体的な検討ができる。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>○中古住宅の流通は難しいが、URに進めていただいている近居割引は大きな効果が見込める。</p> |
| <p>事務局</p> | <p>○住まいWGについて補足させていただく。中古住宅の流通に関するボトルネックの解消について、ローカル的な課題の掘り下げが必要だという御指摘は、住まいWGでも議論させていただいている。全国的な傾向をうまく取り込みながら、次回以降は、さらに課題を掘り下げて御意見を反映していきたい。</p> |
| <p>奥野委員</p> | <p>◆ 鉄道高架下の利用について</p> <p>○洛西口～桂間の鉄道高架下を整備していく必要がある。駅の改札の近くは、駅を利用される方の利用を想定した検討、整備になっていくが、それ以外のところについては京都市と連携を取り、公共的な利用を含めて検討していきたい。</p> <p>○観光だけではなく、子育て、高齢者といったキーワードも入ることも考えて議論していただきたい。</p> |

| | |
|------|--|
| 藤本会長 | <p>○阪急電鉄では広域の路線を持っており、情報誌や梅田駅の大型ビジョンなどのメディアを通じて、広域的な情報発信も可能である。</p> <p>○子育てWGや高齢者WGでも高架下の活用を念頭に入れるべきという意見が出されている。</p> |
| 藤本会長 | <p>◆ 自治会活動の視点からのまちづくりの課題等</p> <p>○地域に密着した自治会の方では、さまざまな課題を抱えておられると思うが、新林学区の片岡委員はいかがか。</p> |
| 片岡委員 | <p>○一番関心を持っているのは、サブセンターが寂れた状態になっているので、地域に元気が出るような施設等、WGで8月に立ち上げられるものに期待している。会館の利用についても、もっと高齢者が活用できるかたちにしていきたい。</p> |
| 藤本会長 | <p>○ぜひ御参加いただいて、積極的に進めていただきたい。</p> <p>○居場所づくりで高齢者の話が出たが、境谷学区の平尾委員の御意見はいかがか。高齢者問題で取り組まれていることは、WGで生かしていけるのか。</p> |
| 平尾委員 | <p>○取組といっても単純ではなく、妙案があるわけでもない。</p> <p>○自治会活動で一番厳しいのは、会員の減少により運営するために必要な資金や活動が窮屈になってきていることである。高齢化で分かったことだが、高齢者の方は自治会に加入している人が多いが、その分、自治会内の新陳代謝が起きてこない。年を取って、これ以上はしんどいからやめるという団体もある。地域女性会や体育振興会などの特定の活動だけではなく、全般的な活動が弱体化しており、かなり高齢化の影響は出ている。今後、いくらテーマをつくって取り組んでも、実際に活動する団体が弱いのでは、事が進まない状況になると思う。</p> |
| 藤本会長 | <p>○WGから出る案が解決につながっていくことを期待する。</p> <p>○高齢者の居場所の話は、竹の里学区の平井委員はいかがか。</p> |
| 平井委員 | <p>○勤めていた人は、退職してみて初めて近所の人が分かるという状況にある。</p> <p>○竹の里には開校当時に小学生が1,200人いた。今では170人を切ろうとしているが、それについて保護者の方はあまり考えておられない。さらに減ってい</p> |

| | |
|------|--|
| | <p>く状況にあり、子どもたちが同じクラスで6年間を過ごすことになるが、いじめなどがあった場合のことを教育委員会はどのように考えているのか。もっと教育委員会にも働き掛けてほしい。教育委員会は、われわれの動向を見ているだけで積極的に動いていないように思う。</p> <p>○「買い物難民」の問題を取り上げられているが、洛西ニュータウン内は、どこに行っても不便ではない。住民が自虐的な発想になっているのではないか。</p> |
| 藤本会長 | <p>○高齢者の課題とともに子どもの課題もあるということだ。</p> <p>○子育て支援のWGで、どういう層を対象にするかという話があったので、そのあたりも視野に入れてほしい。</p> <p>○福西学区の藤本委員の御意見はいかがか。</p> |
| 藤本委員 | <p>○他の学区の方が状況報告したものと福西も同じである。当面の課題として取り組んでいるのは交通問題で、通勤、通学、日常的な生活の移動で、できるだけ公共交通を使おうということで、市バスの運行増の要請に取り組んでいる。</p> <p>○子どもたちが少なくなると教職員も少なくなり、広い校地の手入れができなくなる。空き地は草が茂り、教室は物置のような状態になっている。なんとかしたいが、教育委員会もお金がないしできないということで、そういう方面で寂しい状況がある。</p> <p>○各種団体の高齢化は、30～40年前は若々しい方々が多かったが、いまはお世話をする方々がお世話される年齢になってきている。引き継ぐ若い世代がいればよいが、難しいのが現状だ。</p> |
| 藤本会長 | <p>○組織の高齢化、居場所を求めている子どもや高齢者はいるが、その場所と結び付いていないという印象を受けた。</p> |
| | <p>3 洛西ニュータウンアクションプログラムWG合同ワークショップ（仮称）の開催について</p> |
| 事務局 | <p>○（資料3について説明）</p> |
| 藤本会長 | <p>○皆さんに御参加いただける会を持つという提案になっている。</p> <p>○どうかたちで情報発信をしていくのか。</p> |

| | |
|------|--|
| 事務局 | ○今回の検討会の開催報告と併せて、ワークショップの開催日時を「まちづくり通信」の形で発行したいと考えており、1号と同じく皆さんに回覧等で御案内できればと考えている |
| 藤本会長 | ○できるだけ早く回していただきたい。 |
| 事務局 | <p>4 洛西ニュータウンアクションプログラム（骨子イメージ）について</p> <p>○（資料4について説明）</p> |
| 藤本会長 | ○ゴールのイメージを共有して進めるとの説明があった。 |
| 高田委員 | <p>◆ 10年前のまちづくりビジョンの視点から</p> <p>○10年前のまちづくりビジョンを取りまとめたが、その10年間の経緯を踏まえて、洛西ニュータウンで新しい取組をするということに期待している。10年前に感じたのは、すでに洛西ニュータウンにはさまざまな活動があり、住民の方によるレベルの高い活動が展開されていた。</p> <p>○いろんな立場の方がおられるので、多様な価値観の方がおられるということ自体が、まちとしては非常に意味がある。様々な違いを認識した上で多様な価値観の協働を図っていきたい。</p> <p>○まちの将来像についても議論していくべきだ。これまでの話をすると価値観の違うところでまとまらないので、将来の話をすることが大事。洛西ニュータウンだけではないが、違う価値観の人が将来を議論することが重要性であり、可能だと思う。今回のアクションプログラムも特定の価値観で決めていくのではなく、違う価値観を持った方の共存ということを図りながら、ニュータウンの将来像を考えていければと思う。</p> <p>○8月末に開催される合同WSは非常に意味がある取組だが、「合同WS」という名前は一般の住民が参加しにくい。10年前の「タウンミーティング」という言葉も同様であり、改めて表現も考えていただきたい。一般の方が自由に参加でき、違う価値観の人が集まって、まちの将来を議論できる雰囲気をつくってほしい。</p> <p>○10年前のビジョンでは住生活や住環境の議論が中心であり、今回と基本的には変わっていない。少子高齢化、環境問題、景観の問題、防災の問題などが課題となって、さまざまな意見が出された。住生活や住環境の問題は、今回</p> |

も継続して議論される必要がある。

- 洛西ニュータウンは住民の方の活動が多様かつ活発であり、この10年間でいっそうレベルが上がっている。活動の内容を把握し、その情報を共有することが重要だ。活動の相互関係が分かれば、全体のことを考えながら活動でき、いっそう生活支援の効果が発揮できると思う。共通のプラットフォームで継続的にまちの将来を議論できるような仕組みづくりができるとうい。

◆ 若い世代の定住、Uターン促進等について

- 近居のニーズをどう考えるかが大事な課題。例えば、大阪の千里ニュータウンとほぼ同時にできた兵庫県の明舞団地は、人口減少の課題が出てきている典型的なニュータウンだが、そこの高齢者の御子息の方にアンケートをしたところ、ニュータウンに関心がないわけではなく、経済的な条件を整えばニュータウンに帰ってきたいと考えておられる方が多いということが明らかになった。東京の多摩ニュータウンの動向は、空き家が出てきて価格が下がり、経済的に余力のある親が子どもに援助することによって、子どもに面倒を見てもらえるなどの利害関係を考えて近居を選択するという現象が不動産市場の中で出てきている。
- 個別の人に補助金を出すのは必ずしもよいことではない。無理やり連れてくるのではなく、市場の環境整備を進めて経済的な条件を整えれば、すでにある近居のニーズを促進できると考える。
- いろいろ課題はあるが、住生活支援の話はニュータウンの中で行われている活動を踏まえて議論を進めていただきたい。

◆ 子育て、高齢者の支援について

- 子育ても重要な課題である。親のニーズを捉えつつ、子どもの立場で物事を考え、子どもが育つ環境を整えていく議論の必要性も感じている。
- 高齢化の問題が深刻になっていくが、健康ということを深く考える必要がある。

◆ ニュータウンでの仕事づくりについて

- ニュータウン内の経済活動を把握して、その動向や可能性を検討していただきたい。
- 生活支援をコミュニティビジネスとして支えることができるのか、その資金がどこにあるのか、成り立つのかどうか、経済活動の分析をしておく必要がある。

| | |
|------|--|
| | <p>○ツーリズムは、立地を生かした新たな経済活動の成立可能性という議論だと思うが、必ずしも集客的な考え方だけではなく、研究、教育、文化、芸術活動に関連する経済活動もひとつの可能性として検討できる。</p> <p>○若い人や女性は近場のビジネスを求めるが、経済活動は就労機会増加にもつながる。他の首都圏のニュータウンでは活発に動いている地域もあるので、洛西ニュータウンでも可能性がある。</p> <p>○障害者の就労支援の仕組みをビジネスに組み込むという動きが各所であるが、それも就労機会という観点で検討してはどうか。</p> |
| 藤本会長 | <p>○御意見を各ワーキングでも生かしていただきたい。</p> <p>○「合同WG」については、違う名前を御検討いただきたい。</p> |
| 江草委員 | <p>◆ 子どもの遊び場づくりについて</p> <p>○子どもたちにとって、小畑川が洛西ニュータウンの中でどんな位置付けになり、どんな場所が安全で遊びやすいか関心を持っているが、子どもたちの考えを取り入れていただきたい。</p> <p>○6年生は8年たったら20歳、中学3年生は5年で20歳になる。その青年たちが、公園や小畑川にどんな思いを持って、こんなことができたということをお話する場をつくってほしい。具体的には、小畑川はどんな川になってほしいか小・中学生にアンケートをとり、子どもたちの思いを取り入れていただきたい。公園づくりについても、大人が考えていることだけではなく、実際に動く子どもたちの思いを取り入れていただきたい。</p> <p>○小・中学校の先生に連携を取っていただきながら、子どもたちも参加できるような場面も持っていただきたい。こんなふうに小畑川を変えようという提案ができるのであれば、子どもたちが一緒に参画し、大人たちと共につくり上げていく場面ができれば素晴らしい。現場の声を聞きながら検討していただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>5 今後のスケジュール</p> <p>○（資料5について説明）</p> |
| 藤本会長 | <p>○スケジュールについて、御質問等はあるか。 （一同、意見等なし）</p> |
| 藤本会長 | <p>○本日の議題は全て終了した。他に御意見がなければ、事務局にお返ししたい。</p> |

| | |
|------|---|
| | <p>(一同, 意見等なし)</p> |
| 事務局 | <p>■ 閉会</p> <p>○本日は貴重な御意見を多数頂戴し, 感謝申し上げます。今後の進め方に反映し, よりよいアクションプログラムとして取りまとめていきたい。今後ともよろしくお願ひしたい。</p> |
| 藤本会長 | <p>○それでは, 第2回洛西ニュータウンアクションプログラム検討会を終了させていただきます。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |